

報道関係 各位

2021年4月24日
株式会社日本レースプロモーション

4月24日(土)
2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦
予選速報

福住 仁嶺が念願の初ポールポジションを獲得！

国内レースの最高峰、2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦鈴鹿大会が4月24日(土)、三重県鈴鹿サーキットで行われ、福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンデライアン・レーシング)が自身初のポールポジションを獲得した。

予選Q1は2つのグループ(A組9台、B組10台)に分け、各グループ上位7台計14台がQ2に、Q2での上位8台が最終グリッドを決めるQ3でタイム計測する、ノックアウト方式で行われた。

快晴の下、午後3時10分に始まった予選は、午前中のフリー走行で復調の兆しを見せていた山本 尚貴(ティーシーエス・ナカジマレーシング)が、Q2で敗退。決勝レースは、10番グリッドからの追い上げとなった。

また今大会中嶋一貴に代わり、初出場となるジュリアーノ・アレジ(クオバンテリンチーム トムス)が、Q1、Q2を見事に突破し、8番グリッド獲得と大健闘を見せた。

結果、Q1、Q2、Q3のすべてのセッションでトップタイムを叩き出す快走をみせた福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンデライアン・レーシング)が、参戦4年目で嬉しい初ポールポジションを獲得。続く2番手には野尻 智紀(チーム・ムゲン)、3番手には大湯 都史樹(ティーシーエス・ナカジマレーシング)が入った。

決勝レースは、明日4月25日(日)14時30分スタート予定。

*記録の詳細は、公式ウェブサイトでご確認ください。



念願の初ポールポジションを獲得した福住 仁嶺